

うんどうかい その後2

10月21日：うさぎぐみとはなぐみのうんどうかい

・かけっこ・玉入れ・お届け物・どんぐりの踊り・めっきらもつきら

10月24日：ひよこと年長児のうんどうかい

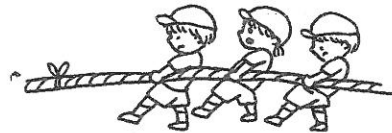
・かけっこ・玉入れ・台風の目・お届け物・どんぐりの踊り・リレー

10月26日：年少児のうんどうかい

・かけっこ・玉入れ・お届け物・どんぐりの踊り

10月27日：年中児と年長児のうんどうかい

・大玉ころがし・台風の目・つなひき



「年少児の玉入れ」を興味津々で見っていた年長児だけに、24日のうんどうかいではほしぐみが、「年少児の玉入れ」をととても楽しそうにやっていました。（ゆきぐみは後日行う予定です。）玉の行方が見えやすいので、力の入れ加減によって玉をコントロールできることが、年長児にとってはとても面白かったようです。26日のうんどうかいでは、自分たちの玉入れの後、「年中児の玉入れ」を経験することができた年少児は、とても嬉しそうでした。かごの中に玉を投げ入れることは年少児にとって難しいのですが、「年中児の玉入れ」をすること自体が大きな喜びとなり、来年へと繋がっていきます。27日のうんどうかいでは、年長児に隣についてもらい、一緒につなひきをした年中児は、「たのしかった!」「ひっぱれた!」「手が痛くなった」等と言っていたそうです。今度は年中児だけのつなひきを経験させたいと思っています。全身の力を出すこと、その力で引っ張ること、踏ん張ること等、なかなか難しい運動ですが、年中での体験を来年へと繋いでいきたいと考えています。

保護者のご感想

「秋の葉っぱにきらきらした太陽のもと、運動会が開かれ、家で何度も耳にした歌で準備体操が行われて、ふふふと嬉しい気持ちになりました。

運動会の為に準備してダンスを踊ったりするのではなくて、毎日が運動会。その中で息子の心も体も成長していく様子がこの約1か月で感じられ、心温まるものとなりました。

心の面では、お兄ちゃんお姉ちゃんとの運動会をする中で、『今日はほしぐみのお兄ちゃんとお届け物して嬉しかった〜』と、喜びや優しさを感じながら、かけっこでは、『一番になったよ〜』『〇〇くんのお兄ちゃんの◎◎くんは走るのすっごい速いんだよ〜』と競争を覚えたり、そんなお兄ちゃんお姉ちゃんの姿を見ているせいか、息子の走り方もこの1か月で変わってきた様に思います。

正直、元気な音楽が流れ、ダンスをしたり、色々な競争をしたりする、そしてその様子を親はカメラ、ビデオに必死に残そうと頑張る!といった運動会しか知らなかったのも、どんな運動会なんだろう?と聞いていましたが、こんなに心と記憶に残る素朴な運動会に、心動かされました。

来年は、年長さんがコーナーに座ってくれて、かけっこをするのか〜と思うと、今から楽しみです。（後略）

・・・関大幼稚園の運動会の取り組みを、そして参観日の子どもたちの姿を、ふんわりと包み込むようにみつめてくださって、嬉しく思います。それぞれの幼稚園で、いろんな運動会の形（取り組み方）があると思いますが、私たちはあくまでも、運動会を大きな行事（イベント）とはしたくありません。そうしてしまうことで、様々な経験を通しての達成感が独り歩きし、子ども自身力にならないように思えるからです。目的に向って頑張ることは大切な経験ですが、運動会だからと特別な意識を持って頑張る（頑張らせる）のではなく、普段の園生活を過ごす中でのことと同様に、身体を自由に動かせることに喜びを感じ、友だちを気遣い励ます優しさを育て、仲間と力を合わせることで得られる感情を体感させる保育に力を注いでいます。

年少の今があり、年中、年長へと成長していく。子どもにとって心地良い環境とゆったりした時間の流れを守り、温かい思いの集団の中で、大事に大事に子どもたちを育てていきたいですね。